日程

開場	8:30
受付	8:40～9:00
審判会議	9:10～9:20
開会式	9:30～9:45
演武	9:50～10:10
演武の部開始	10:20～
小学生の部　試合開始	10:50～

※演武以後の時間は凡その目安です。進行により前後します
※各試合会場、小学生の部終了次第、中学生の部を開始します
※途中、昼食休憩を設けませんが、各自判断して食事・軽食を準備し、取って頂いて構いません
※選手控え場所が大変寒いことが予想されますので、各自防寒着の準備をお願い致します

演武の部　運営要領

- 演武の部に出場する選手は、剣道着・袴に着替え、胴・垂を着装し、面・小手・竹刀を持って整列する。
- 整列後、号令に従い着座、正座、座礼、面付け（保護者等による補助を認める）を行い、元立に対する立ち合いの間合に立つ。
- 号令「礼」に合わせ元立と立礼を行い、3 歩進んで蹲踞、「打ち込み稽古、始め」の号令に合わせて立ち上がり、面→小手面→胴→面体当たり引き面→面の打ち込みを行う。
- 全員終了したところで「それまで」の号令に合わせ蹲踞→納刀→小さく 5 歩後退→立礼を行い、次の組がある場合は交代する。
- 全組が終了するまで上記を繰り返し、全組終了後直ちに整列し、号令に従い着座、面取り（保護者等による補助を認める）、正座、座礼を行う。

試合運営要領

試合・審判は、全日本剣道連盟・試合・審判規則、同細則ならびに本大会申し合せ事項、ならびに令和 6 年 9 月 1 日改訂「剣道試合・審判・運営要領の手引き」に従う。

- 試合は、小学 1・2 年生は対戦者が同時に**正面打ち 4 本**および **15 秒間の打ち込み**を行い、判定試合。元立ちは団体内から任意選出とするが、同時に同じ団体で試合する可能性があることから 1 部門で複数名出場する場合は 2 名以上を人選しておくこと。小学 3 年生以上は 2 分三本勝負、中学生 3 分三本勝負とする。
- 組み合わせは、当日選手本人による抽選とする。
  原則として 1 部門 1 学年とするが、エントリーが少ない場合は、人数に応じて【小学 1・2 年生の部】【小学 3・4 年生の部】【小学 5・6 年生の部】【中学生女子の部】のよう

な括りで統合する。

■ **トーナメント戦**で、時間内に勝敗が決しない場合、準々決勝までは 2 分間の延長戦を 1 回行い、なお勝敗が決しない場合は判定により勝敗を決する。準決勝・決勝戦および三位決定戦においては、延長戦を 2 分毎区切って勝敗が決するまで行う。

✧ 延長戦における「休憩（面を外さず試合場内で息を整える）」「休息（面を外し水分補給を含む 5 分間の回復）」は、延長 2 回ごとに休憩 1 回、3 回目の休憩を休息とし、これを繰り返す。

✧

■ 同一選手が連続して試合となる場合、3 名の一本勝負による順位決定戦では試合間で休憩時間を設けない。それ以外は小中学生とも一律 2 分間の休憩時間を設ける。

■ 令和 6 年 9 月 1 日改訂「剣道試合・審判・運営要領の手引き」に関わる「反則」については、小学生について各試合 1 度目は「指導」とし、2 度目以降は「反則」を適用する。中学生については 1 度目から「反則」を適用する。

✧ **予選リーグにおける順位決定の要領**

- 予選リーグにおいて時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。リーグ戦の**順位は勝数により決定**する。**勝数同数の場合は取得本数**により決定する。引き分けは負け同様リーグ戦の順位に寄与しない。
- 順位決定戦は 1 分間の一本勝負、決しない場合判定により勝敗を決し、勝者を上位とする。
- 3 名による順位決定戦の場合、番号の若い順に 1 分間の一本勝負、決しない場合判定を行い、2 連勝した選手を上位とし、さらに順位決定が必要な場合は残る 2 名による 1 分間の一本勝負、決しない場合判定を行う。
- 変則リーグにおいて当該選手が 4 名の場合、リーグ内で対戦のなかった組み合わせの試合を行い、その試合を含め順位計算し、さらに定まらない場合、1 対 2、3 対 4 とその勝者 2 名で 1 分間の一本勝負､決しない場合判定により勝敗を決する。

✧ **決勝リーグにおける順位決定の要領（出場選手 3 名の部門）**

- 決勝リーグにおいて時間内に勝敗が決しない場合、勝敗が決するまで延長戦を行う。リーグ戦の**順位は勝数により決定**する。**勝数同数の場合は取得本数**により決定する。
- 順位決定戦は 1 分間の一本勝負、決しない場合判定により勝敗を決し、勝者を上位とする。
- 3 名による順位決定戦の場合、番号の若い順に 1 分間の一本勝負、決しない場合判定を行い、2 連勝した選手を上位とし、さらに順位決定が必要な場合は残る 2 名による 1 分間の一本勝負、決しない場合判定を行う。

✧ 出場選手 4～5 名の部門

- トーナメント戦とする。
- 準決勝敗者 2 名で 3 位決定戦を行う。3 位まで表彰する。

✧ 出場選手 6～8 名の部門

- 予選は 3 名または 4 名の A・B　2 リーグとする。4 名リーグの場合、各選手 2 試

合の変則リーグとし、各リーグ 2 位以上を決勝トーナメント進出とする。

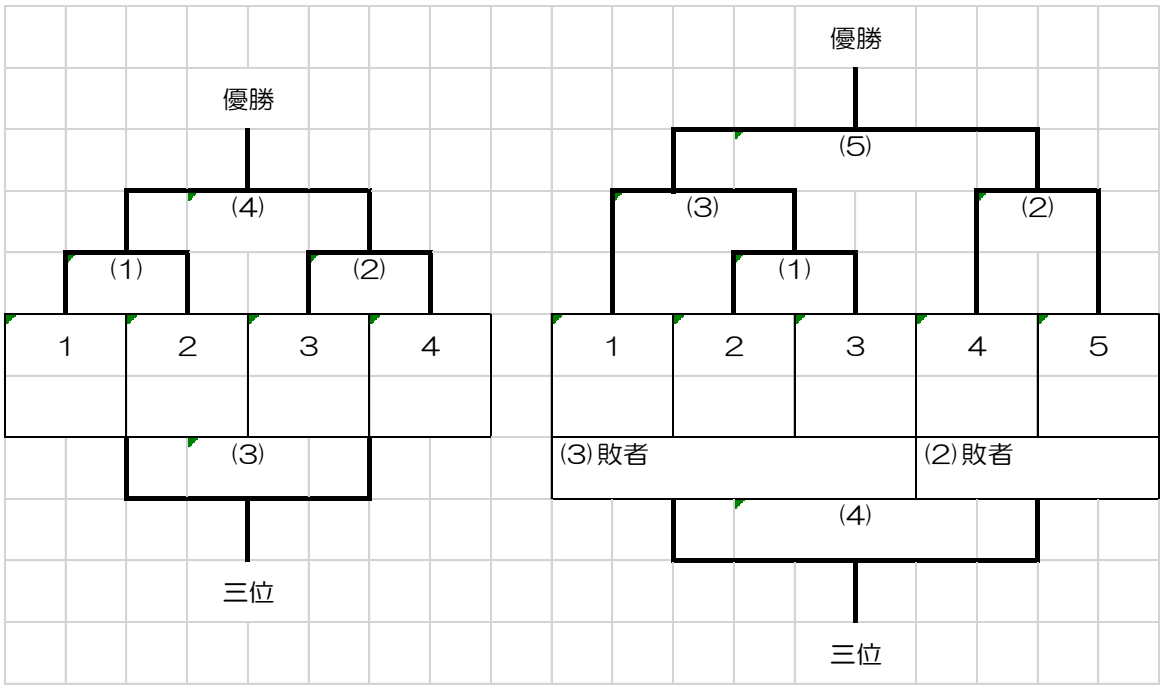
- 各予選リーグにおいて 1 位および 2 位が定まらない場合、当該選手で順位決定戦を行う。
- 準決勝組み合わせは A1 位対 B2 位・B1 位対 A2 位。決勝および 3 位決定戦を行い、1 位から 3 位を定める。3 位まで表彰する。

出場選手 3 名の部門

決勝リーグ

氏　　名		1	2	3	勝数	本数	順位
1			(1)	(3)			
2		(1)		(2)			
3		(3)	(2)				

出場選手 4 名の部門、5 名の部門



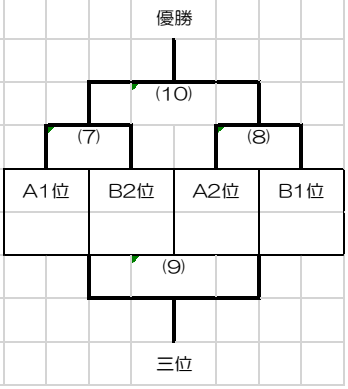
出場選手 6 名の部門

Aリーグ

	氏　　名	1	2	3	勝数	本数	順位
1			(1)	(5)			
2		(1)		(3)			
3		(5)	(3)				

Bリーグ

	氏　　名	4	5	6	勝数	本数	順位
4			(2)	(6)			
5		(2)		(4)			
6		(6)	(4)				



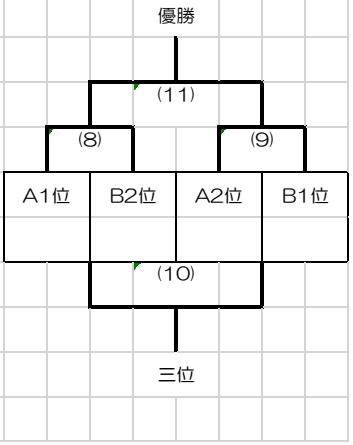
出場選手 7 名の部門

Aリーグ

	氏　　名	1	2	3	4	勝数	本数	順位
1			(1)		(5)			
2		(1)		(7)				
3			(7)		(3)			
4		(5)		(3)				

Bリーグ

	名	5	6	7	勝数	本数	順位
5			(2)	(6)			
6		(2)		(4)			
7		(6)	(4)				



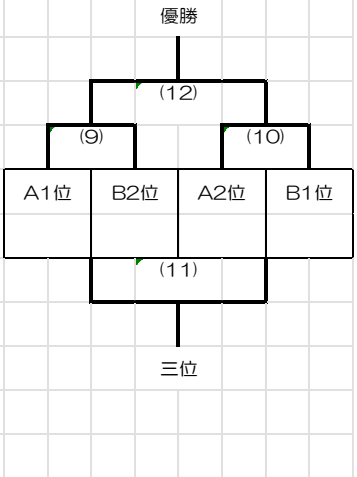
出場選手 8 名の部門

Aリーグ

	氏　　名	1	2	3	4	勝数	本数	順位
1			(1)		(5)			
2		(1)		(7)				
3			(7)		(3)			
4		(5)		(3)				

Bリーグ

	氏　　名	1	2	3	4	勝数	本数	順位
5			(2)		(6)			
6		(2)		(8)				
7			(8)		(4)			
8		(6)		(4)				



感染症対策

1.本大会は一般財団法人長野県剣道連盟「感染症予防ガイドライン(令和８年 11月１日付け)」に沿って運営する。参加者は本対策および係員の指示を遵守すること。
https://kendo-nagano.com/wp-content/uploads/2026/11/%E5%88%A5%E7%B4%99-202610%E6%94%B9%E8%A8%82%E7%89%88_%E6%84%9F%E6%9F%93%E7%97%87%E4%BA%88%E9%98%B2%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3-2.pdf

(1) 行事の参加について

以下に該当する者は行事への参加を控えること。

① 体調がよくない場合、体調が普段と異なる場合

② 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合

③ 同居家族や身近な知人に流行しやすい感染症が疑われる者がいる場合は、慎重に判断すること

・基礎疾患があるなど、感染しやすさ、あるいは感染症重症化の不安がある者は、必要に応 じて主治医等に相談すること。 日常生活においても、換気や手洗い消毒などの対策を心掛け、発熱や咳、倦怠感等の症状 を認めた場合には、無理をせず、必要に応じて医療機関を受診すること。

(2) 剣道の実施にあたって

① 面をつけて剣道を行う際の、シールドもしくは面マスクの着脱は任意とする。ただし、個人の判断においての着用をさまたげないものとする。

② 大会の審判員、審査会の役員・審査員・係員を含めて、マスクやシールドの着脱 は任意とする。

③ 稽古場所・会場等においては、可能な限り通風・換気を十分に行う。

※ただし、マスク・シールドの着脱の判断につき、高齢者や基礎疾患のある者など、感染 リスクや重症化リスクの高い者は十分留意すること。

入場・受付

- 下足は袋に入れ、各自で管理すること。(会場下足箱は使用禁止)
- 受付で出場選手の確認を受け、参加料**(¥500/名)**を支払うこと。

飲食等

武道場内での水分補給以外の飲食は禁止する。試合会場外で摂ること。

その他

(1) 試合中の傷害については各自（または各団体）で保険加入し、対応すること。
(2) 赤及び白の目印（幅５ｃｍ長さ 70ｃｍ）は各自用意すること。
(3) ゴミは各自で持ち帰ること。（会場ごみ箱は使用禁止）
(4) ビデオ撮影等は、個人での視聴を目的にした場合に限り認める。試合進行の妨げにならないように十分注意して撮影すること。また、不特定多数が視聴できる SNS 等へ動画等を掲載しないこと。

以上